



南陽出張所通信

第220号

令和3年7月30日

国土交通省

【発行者】国土交通省 東北地方整備局 山形河川国道事務所 南陽出張所

〒999-2232 南陽市三間通14 TEL:(0238)43-2011 FAX:(0238)43-2411

ホームページアドレス→ <http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/syUCHO/nanyou/>

管理区間内を様々な視点で点検しました

南陽出張所では、本格的な出水期を前にして、堤防及び河川の状況を把握するため、様々な点検を行いました。

1 堤防を歩いて点検

6月14日(月)から7月8日(木)にかけて、職員などで編制した巡視班員のべ33名により、管理している最上川と支川の堤防およそ50kmを歩いて点検し、堤防が安全な機能を有しているかどうかを確認しました。点検した結果では、安全性に影響するような重大な損傷箇所は確認されませんでした。劣化している箇所については監視を継続し、計画的に補修していきます。



1. 堤防を歩きながら点検を実施
2. 貫入棒で堤防の健全性を確認
3. 天端状況を実測して確認
4. 堤防勾配を実測して確認



2 ボートを使って水上から河川を巡視

7月6日(火)、通常は堤防や河川敷から確認できない河岸や護岸、河川構造物などが損傷していないかを、ボートを利用して水際から状態監視を行いました。当日は、米沢市の置賜橋下流から川西町の西大塚水位観測所までの約15kmの最上川を、3艇のボートで移動しながら確認しました。晴れの日が続いたこともあり、川の水量が少なく、ところどころでボートを降り、浅瀬を歩いて移動しながらの点検でした。

水上から巡視したところ、緊急に補修が必要な箇所はありませんでしたが、今後も継続的に監視していきます。



◀ 最上川をボートで移動しながら点検



ボートを降りて、歩いて川を移動することも ▶